

令和元年度 第1回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

- ・ 審議会等名 令和元年度 下野市生涯学習推進協議会議
- ・ 日 時 令和元年7月19日（金）午後1時30分～3時00分まで
- ・ 会 場 下野市役所3階 教育委員会室
- ・ 出席者 小島会長、井上副会長、高橋委員、菅井委員、石田委員、下山委員、福田委員
鈴木委員、武子委員
【欠席委員】増淵委員
(事務局) 池澤教育長、手塚生涯学習文化課長、浅香課長補佐、漆原主査、松岡主事
- ・ 公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)
- ・ 傍聴人 なし
- ・ 報道機関 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和元年8月14日

【協議事項等】

1 開会〈手塚課長〉

2 会長あいさつ〈小島会長〉

短い時間だが、議題に対して忌憚のない意見をお願いしたい。

3 教育長あいさつ(池澤教育長)

今夏、外気温が上昇していることで様々な問題が発生しているが適宜対応している。

平成30年度生涯学習実績報告書、今後、話し合っていく第三次生涯学習推進計画への忌憚のない意見を願います。

4 議 事

(1) 令和元年度生涯学習推進協議会スケジュールについて

(事務局) 今年度は全3回を予定している。来年度は生涯学習推進計画の見直しをする必要があるため、それに伴う内容となってくる。第三次生涯学習推進計画策定に向けた第二次生涯学習推進計画の点検や市民アンケートを実施するための内容の精査などを願うことになる。

(小島会長) 事務局の説明について何か意見はないか。

(菅井委員) 計画策定前に実施しているアンケートは策定前にはいつも行っているものなのか。内容はある程度決まっているのか。

(事務局) いつも行っているものであり、前回の項目を活かしながら新たに加えるものがあるかご意見をいただきたい。

(石田委員) 第三次生涯学習推進計画の策定に向けてとのことだが、生涯学習推進は内容が各課に亘るが事務レベルでの検討会はあるのか。当協議会で案を出して、生涯学習文化課だけでまとめるのか。それとも課を横断した作業部会みたいなものがあるのか。

(教育長) お配りした平成30年度生涯学習実績報告書の最終ページに組織図が記載されている。生涯学習推進本部から本協議会に諮問し、協議会で提案事項をあげていただき、幹事会や実施期間が作業部会にあたり、そこで作業し報告する。

(武子委員) 報告書を読むと事業の質も量も十分にやっている。しかし、これでいいのかという気もする。自分のまわりにも生涯学習に熱心な人がおり、その人たちと話してもその事業をやって何になるのか？そもそも生涯学習推進協議会とは何か？という話になる。協議会自体や、やっている内容の認知度が低い。実際に生涯学習に取り組んでいる、ある程度の人数を一堂に集めて、協議会と事務局と入って話をし意見交換をするというのではないか。我々は市民の代表という立場でこの協議会に出席させてもらっているが、あくまで一個人であり、把握できる内容にも限りがあるし、ここで話し合っている内容を生涯学習に取り組んでいる人たちに伝えやすくなる。

(教育長) この場は統括機関であり、教育実施機関ではない。当市の生涯学習の方向を決めるものである。生涯学習情報誌「エール」も本協議会での話し合いで全戸配布にしたり、受付を前後期制にしたりと、利便性を高めてきた。それは市民の代表としての皆さんのお力である。ひとりひとりの意見を聴きたいという話はよくわかるが、実際にそれをやると混乱してしまう。報告書の中の要改善点は各講座を受けた市民の感想を吸い上げたものであるし、第三次生涯学習計画策定前にはアンケートを実施し市民の声を聴いていくつもりだ。直接的に意見を吸い上げるのは困難だが、なるべく多くの市民の意見を吸い上げられるように努力していく。

(石田委員) 自分は公民館運営審議会の代表として参加しているが、本報告書の中には公民館事業の内容のほぼ全てが網羅されているし、公民館については現場の声がきちんと吸い上げられているように感じる。これだけの膨大な量があるので大変だということは理解しているが、可能なら生涯学習文化課が各課から報告のあがってきた成果と改善点について生涯学習を所管する課としてコメントなりあればより良いと思う。

(鈴木委員) 我々が実績報告書の成果と要改善点の部分を、目標達成度を基準に見ることも重要だ。目標達成してないものは積極的に次期計画にいったほうがよい。A～Dなどで評価を出しても公表してもいいと思っていた。それによってどこに注力すべきなのかわかりやすい。ただ、数値評価は受け取られ方が難しいし、文章できちんと書かれているので問題ないとも考えている。

(事務局) 貴重なご意見いただきありがたい。来年度の計画策定に向けて、アンケート実施を予定しているが、その内容を前回踏襲でなく、実際に生涯学習に取り組んでいる方の意見を反映できるよう工夫したい。次回の会議にアンケート案として提示する予定なので意見をお願いしたい。

(教育長) 評価に関しては、現在、公民館運営協議会で、各公民館の事業についてA～Dの4段階評価に挑戦している。私も社会教育に長く携わっているが、公民館をこのよ

うに評価しているところを見たことが無いので、非常に楽しみだ。この結果については市民の皆さんに向けて、いずれ市議会の全員協議会で報告したいと考えている。図書館も現在取り組んでいるので、公民館と図書館については評価を数値として出せると思う。

(2) 平成30年度生涯学習推進実績報告について

- (事務局) 事前に委員に平成30年度実績報告に対する意見・質問をいただき、それについて回答した。
- (鈴木委員) 自分を含めてだが、先ほどの意見・質問のところで、生涯学習推進計画(第二次)施策体系図の「Ⅲ 学びを支援する」についての内容がなかった。この部分は評価するうえでも重要な部分になってくる。
- (教育長) 学びを支援するという点で言うと、南河内公民館の社会教育指導員の2人が中心となってロビーのレイアウトを変更して、学習用の机、椅子、デスクライトなどを整備したところ利用が増えた。今夏から学習ボランティアもそこを利用するとのことだ。第1回中学生議会でも「学ぶ場をつくってほしい」との意見があった。今後、石橋公民館が多目的複合施設となる予定だが、その中にも学習室機能を持つものを設置し、学びを支援していきたい。
- (鈴木委員) 市民が集まって話し合う場としては公民館やコミュニティセンターが挙げられるが、なかなか若い人はそういうところに行きづらい。先ほど教育長の言われたような場が増えてくると良い。また高齢者もそういった設備があるといいと考える。自治公民館などのつくりは少し時代に合わない気がする。また今、図書館の在り方が変わってきている。元来、図書館は静かに過ごす場だったが、これからは自分の意見を言ったり、相手の意見を聞いたりという場になると思う。実際、学校教育の現場がそうなってきている。そういう場があるといい。
- (武子委員) 予約などは必要だが、会議室のような部屋ほどの図書館にもある。
- (教育長) 先ほど話した南河内公民館のロビーには自販機もあり、そこで女子高生などが軽食をとりながら話したり勉強したりしている。
- (鈴木委員) 市内に机と椅子が置いてあって、ご自由にどうぞという場所は意外に少ない気がする。上三川町のいきいきプラザなどは学生や高齢者が大広間の横の椅子が置いてあるコーナーをずっと使っている。小さい子向けの図書館もある。近隣の施設の在り方として面白い。
- (教育長) 宇都宮南図書館も若い子たちが飲食しながら滞在している。
- (鈴木委員) そのスペースを長時間、独占する方の対応などで運営側は困っているようだが、適切に使う方もいる。学校と社会教育の連携がなされ、且つ、そこに学習指導ボランティアなどがいるような風景が下野市にあると良い。
- (武子委員) 現在、石橋図書館ではそういったスペースを作って運用している。1階のトイレ

の横にあるスペース（休憩室）も使える。明るさもそれなりにある。

(鈴木委員) 明るさの十分なオープンスペースが望ましい。ドアが閉まってしまうとトラブルがある恐れもある。大学教育でもオープンスペースの活用が進んでおり、宇都宮大学の図書館では、1階は自由に会話ができるが、2階以降は従来通り静かに利用する。用途を明確にして老若男女問わず使えることが望ましい。

(下山委員) 国分寺図書館は以前、館内で食事は一切とれなかったが、長期休みに学生が勉強に来た際にお昼に弁当を食べる場所がなく、館外のドアの外で食べていた。そういったこともあってか、今は時間を限って視聴覚室で食事できるようになった。状況に合わせて配慮することもしている。

(鈴木委員) 年配の方もだいぶ図書館に来ているが、みなさんそれぞれ新聞や雑誌を読んだりしている。もしオープンスペースがあれば、そこで情報交換をしたり、最近の話題について話したりという雰囲気生まれるのではないかと。定年退職して図書館に通っているという方も多いので、そうした方が結びつき、まちづくりに協力してもらえるようになれば良い。

(武子委員) 指定管理者として民間が入ったことでそういったことがやりやすくなった。石橋図書館の児童書の反対側のコーナーは話をしてもいいところだ。

(鈴木委員) あまりそこで話している方はいらっしゃらないように見受けられる。

(武子委員) 実際は休憩室まで来て話している人が多い。

(鈴木委員) 休憩室はあまり明るさがなく、窮屈感がある。上三川のいきいきプラザのような明るい開かれたスペースがあれば、高齢の方などは孫の面倒をみながら、同年代の方と情報交換したりできる。実際に上三川でそういった光景を見ている。今後、市内に設置される市民が集う施設にはそういったスペースができるとよい。

(3) 令和2年度事業への提案について

(小島会長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 過去3年間の当会からの提案内容を確認。過去3年間は生涯学習推進計画の基本目標を1つずつ取り上げてそれに対する提案を頂いていたが、今年度はそれぞれの基本目標に対してはもちろん、計画を全体的に見たご意見をいただきたい。

(高橋委員) 「基本目標：Ⅱ 学びを活かす」の部分でいろんな講座の修了生がそれを活かす場を上手くマッチングできるようになればよい。例えば講座の内容を活かして学校を手伝っていただきたい。既に裁縫やミシン、習字などは生涯学習ボランティアに手伝ってもらっているが、もっと多くの方に手伝ってもらえると嬉しい。

(武子委員) ボランティアバンクを作るという話も出ていたが、それも話で出たきりになっている。自治会長のところにいけば得意な人を紹介してもらえるのではという話も以前したので、自分自身が行って聞いてみたところ、得意な人は知っていたが、ここで話し合われている内容を自治会長が把握していないので話が繋がらない。あの話

はどこにいったしまったのか。

(高橋委員) 学校運営協議会委員にも自治会の方がいるので、その方を通して自治会で学校の困りごとを解決する手伝いをしてもらえる方がいないか探してほしいと話したが、なかなか進まない。自治会の回覧版に情報を流してもあまり集まらない。

(事務局) このあとお話す主な成果と要改善点の部分で出てくるが、協力したいという方に生涯学習ボランティアに登録していただくといったことが挙げられる。

(武子委員) 既に登録はあるのか。

(事務局) ボランティアバンクは生涯学習情報センターで管理、運営しており、生涯学習ボランティアへの登録している方は既にいる。

(武子委員) 自治会長などにそういった話が届いていない。私もよくわかっていないのだが、ボランティアバンクは既にあるって、活動しているということなのか。

(事務局) ボランティアバンクはあって、活動している。毎年発行している生涯学習情報誌エールにボランティアバンクの登録についても掲載している。

(武子委員) 既にボランティアバンクがあるならそれを容易に利用できるような仕組みづくりをする必要がある。

(小島会長) 私はかんぴょうへの絵付け指導をしているが毎年登録してくれという電話がある。それがこのボランティアバンクのことなのか。

(高橋委員) そうだ。それに登録してもらえば他の学校でも使いやすくなる。

(教育長) 生涯学習情報センターで学校支援ボランティアと生涯学習ボランティアを登録受付していて、登録人数は多くいる。また学校には地域連携教員がいる。更に地域の方と地域連携教員を繋ぐために、各公民館の教員OBの社会教育指導員を地域学校協働活動推進員に任命した。こういった活動により、最近は登録ボランティアの活動の機会が増えている。地域と学校を繋ぐコーディネーターとしての地域学校協働活動推進員も現在は社会教育指導員にやってもらっているが、ゆくゆくは地域の方をお願いしたいと思っている。現在、システムチェックにしている途中であるので、もう少し時間をいただきたい。

(福田委員) 以前、学童に勤めていたときにボランティアバンクを利用し、大変お世話になった。利用したことがある人が口コミで広げていくのも良い。

(高橋委員) ボランティアバンクに登録していないと依頼できないので、いろいろな方に登録して頂きたい。それとは別に公民館講座などで学んだことを活かせる仕組みづくりがあれば「基本目標：Ⅱ 学びを活かす」を達成することができるのではないかと。

(事務局) 公民館の自主サークルが地域に出ていきやすいような仕組みや環境づくりを進められればよいとも考えられる。

(鈴木委員) 「基本目標：Ⅲ 学びを支援する」の部分で、先ほど申し上げたようにオープンに話し合え、交流できるスペースづくりをしてほしい。またインターネット環境の整備

をしてもらいたい。セキュリティなど難しいかもしれないが、フリーWi-Fi を設置してもらいたい。自分の端末で同じ情報検索結果画面を見ながら話したりという機会も増えている。

(事務局) 公民館と生涯学習情報センターはフリーWi-Fi となっている。

(鈴木委員) 街の観光施設では徐々に整備するという話は聞いている。市外からの観光客や訪日外国人のためにも整備する必要があると考える。

(石田委員) 私は現在、南河内公民館の夜間管理をしているが、ロビーの学習スペースは非常に素晴らしい。子どもたちがあまりにも帰らないのでこちらから声をかけたり、雷で避難してきた子どもが親に電話したいと相談されたりする。Wi-fi についても社会教育指導員が自らの講座に活かしているようだ。

以前は各公民館にデスクトップパソコンが設置してあったが撤去された。公民館利用団体が施設予約をしたり、施設の空き状況などを確認していた。今は自分が頼まれれば空き状況は確認している。そういった設備を再設置するのはどうか。

(教育長) 現在、タブレット端末などが普及しているのでWi-fi 環境は市内の小中学校全てで整えているので、そういった部分も徐々に充実してくると思う。

(鈴木委員) 薬師寺歴史館に何台かタブレット端末がある。

(教育長) VRのために設置がある。今年度は国分寺の復元のVRが出来上がるのでその時にWi-fi 環境も整える。

(鈴木委員) そういった設備を整えることも、学びを支援することに繋がるので、観光面、学習面共に重要なことだと考える。予算などで難しいこともあるかもしれないが、方向性として示していきたい。

(教育長) 目標のないところに実践はないので第三次生涯学習推進計画にそういったものが入ってくるとよい。

(4) 第二次生涯学習推進計画の点検について

(小島会長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 下野市生涯学習推進計画(第二次)点検資料を参考にしながら、第三次生涯学習推進計画に活かせるようなご意見をいただきたい。

(石田委員) 「基本目標：I 学び場をつくる」の具体的施策などのひとつにある「(1) 人権教育(人権・男女共同参画・国際理解)」だが、それぞれの項目に対して非常に力を入れて事業実施しているのでカッコ内の項目をそれぞれ項立てしてもよいと考える。

また、グラフについてだが、「学習目標：I 学び場をつくる」の項目が非常に多い。内容をみると「活かす」「支援する」でも問題ないような部分もあるので、各目標のバランスを多少整えてもいいと考える。

もうひとつ、自分は以前、石橋公民館の夜間管理をしていて、現在は南河内公民館の夜間管理をしているが、石橋公民館の夜間利用は非常に多いが、南河内公民館の夜

間利用は非常に少ない。公民館長に聞いてみたところ、南河内地区にコミュニティセンターや生涯学習情報センターが後から建ったことでそれに伴い利用が減っているとのことだった。同じ市内でも利用のバランスが取れていないのでそういった現状をお伝えさせていただく。

(鈴木委員) 「基本目標：Ⅰ 学び場をつくる」の項目のひとつである「5 地域づくりのための学習の充実」は結果として「基本目標：Ⅱ 学びを活かす」になると考える。講座にしても実践を含むものとしてやっていく。現在、二次計画の目的が「生涯学習による下野市の文化づくり」となっているが、生涯学習の結果、まちが豊かになり、市民意識の向上、自立した市民社会の実現となっていくという方向にしていきたい。

(教育長) 生涯学習推進計画（第二次）の目的は平成27年の本会議で決まったものだ。それは生涯学習情報誌「エール」にずっと掲載している。是非、第三次計画でも具体的なキャッチコピーを決めてほしい。

(鈴木委員) 具体的施策「(1) 人権教育」の中に「国際理解」とあるが、もう国際理解の段階ではない。外国の方がこれだけ多く住んでいて、業種によって外国の方の力が欠かせないものもある。下野市も例外ではない。どうやって共生していくかを人権問題として学んでいく必要がある。

(教育長) 第二次計画の「基本目標：Ⅱ 学びを活かす」の具体的施策に「庁舎等におけるコンサートの実施」などが挙げられた際に、実際に使わせてもらえるのかという話もあったが、復曲能や美術家協会のギャラリー、コンサートなど大いに活用されている。そういった先を読んだ施策も大切だし、これまで進めてきた良いものを継続していくことも必要なので、取捨選択をしっかりと良い計画にしてもらいたい。

また各公民館の自主サークルの交流なども計画に盛り込んでいきたい。

(石田委員) 「庁舎等におけるコンサートの実施」の主な担当課は生涯学習文化課のみとなっているが、議場コンサートは議事課でやっている。それも書いた方が良い。

(鈴木委員) 「基本目標：Ⅰ 学び場をつくる」の具体的施策「(3) 環境・ごみ問題についての学習」とあるが、下野市内でも自治会や各自治体が管轄しているところは非常にきれいであるが、道の駅しもつけから新4号国道へ向かう道はごみが散乱している。本来、国が管理するものだという事はわかっているが、一般の方から見れば下野市が管理をしていないように見られる。

(教育長) 年1回、南河内中学校の生徒会が中心になってクリーン活動をしているが、交通量が多く危ないとも思っている。

(鈴木委員) 石橋地区で以前大きな事故があったのでなかなか環境整備が難しいのはわかっているが、第二次計画の目的を達成するには環境整備・美化活動は非常に重要だと思う。まちづくりリクエスト講座など下水道についてのものはある、道路についてのものはないので、そういったことも重要だと思う。

(教育長) 美化活動の観点からお話させてもらおうと、先日、南河内地区の祇園原公園で「エコライフまつり」が行われた。そういったまつりが行われることがあるからか公園のトイレが以前よりきれいに使われるようになった。市民の目が増えることで抑止効果が高まったのかもしれない。

(武子委員) 以前、環境美化推進協議会委員をやったことがあるが、環境課としても市内の美化にはかなり力を入れていた。実際にごみを捨てる人の意識をどう変えていくか、市外から来る人への啓発が非常に重要だ。

(鈴木委員) 市が管轄している部分は非常に良くなっている。市内の市管轄外の部分をどうしていくかが課題だと考える。

5 その他

(1) 今後の本会議の進め方

(事務局) 後日、「令和2年度事業への提案について」と「第二次生涯学習推進計画の点検について」、こちらで用意した様式にご意見などを書いて、当課に送ってほしい。

(2) NHKラジオ体操について

(事務局) 8月2日(金)に大松山運動公園陸上競技場にてNHKの巡回ラジオ体操がある。皆様の奮っての参加をお願いしたい。

(3) ひと・まちづくり講演会

(事務局) 8月3日(土)の10時から南河内公民館で講演会を開催する。市の総合計画策定に携わった中村祐司氏が講師となっている。是非、積極的な参加をお願いしたい。

(菅井委員) 同日に市主催の講演会がもうひとつあったり、国分寺、石橋では盆踊りなどがある。そうしたイベントに重複しないように日程調整していただきたい。

6 閉会